事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
41131	小中学校感染症対策・学習環境整備事業	教育委員会事務局	生涯学習政策課	シートA	2
41131	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	教育委員会事務局	生涯学習政策課	シートA	3
49999	教育委員会議費	教育委員会事務局	生涯学習政策課	シートA	4
49999	一般事務費	教育委員会事務局	生涯学習政策課	シートA	5

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートA＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名		課等名		担当グループ名			連絡先			
	部等長名		課等長名		ﾘｰﾀﾞｰ名			担当者名			
令和2年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	生涯学習政策課	担当グループ名	調整・評価担当		連絡先	948-6588		
	部等長名	矢野 博朗	課等長名	西村 秀典	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	奥島 洋平	担当者名			

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	41131	小中学校感染症対策・学習環境整備事業		事業性質	2:その他	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム		個別プログラム	-	
政策	子どもたちの生きる力を育む				重点プロジェクト	-	
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進				主な取り組み	-	
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約		-		
取り組みの柱	学校施設などの安全確保及び良好な学校環境整備				-		
総合戦略		基本目標 -	取組み	-			
		政策 -					
		施策 -					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的（どのような状態にするか）	感染拡大のリスクを最小限にするため学校での感染症対策を強化するとともに、家庭での効果的な学習のために用いる教材を整備するなど、子どもたちの学習保障に必要な取組を実施する。						
背景（どのような経緯で開始したか）	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学校が一斉休業となったことを受け、各学校が段階的な学校再開に際して、感染症対策等を徹底しながら児童及び生徒の学習保障をするための新たな試みを実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の再開を支援するため、国が令和2年度第2次補正予算を計上した。						
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	【対象】松山市立小中学校82校 【事業内容】各小中学校の規模に応じて1,000～2,000千円を上限に、教育活動の実施に当たり、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要となる物品の購入や、感染症対策等を徹底しながら、学校での教育活動や効果的な家庭学習を実施するために必要な教材等を整備する。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期（年度）	令和 2 ～ 令和 2		終期の種別	1:事業の終了時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	教育総務費	目	学校教育総務費	R2予算措置時期	9月補正

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額（A）（単位：千円）		0	132,500	0
決算額（B）（単位：千円）		0	123,482	
内訳 （単位：千円） ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	123,482	0
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0
主な経費（単位：千円） ※R2→決算,R3→予算			・消耗品費 79,042千円 ・備品購入費 39,951千円 ・使用料及び賃借料 4,489千円	
特記事項（単位：千円） ※繰越,補正,流用,事業統合等			9月補正で132,500千円追加	
予算執行残額 （単位：千円）	(A)-(B)	0	9,018	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	・感染症対策として、アルコール消毒液などの衛生用品や、換気を徹底するためのサーキュレーターなどを購入 ・学習保障として、家庭用学習教材やデジタルドリル教材を整備						
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	各学校長から要望のあった物品等を整備することができた。			
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	各学校で感染症対策を徹底しながら、子どもたちの学びを保障する取組を実施することができた。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない	
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、令和3年度以降もこれまで同様、子どもたちの学びを止めることなく、感染症対策を徹底しながら、学校教育活動を継続していく必要がある。						
R3年度の目標		R3年度の主な取組み内容（予定含む）		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策			

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートA＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	生涯学習政策課	担当グループ名		調整・評価担当	連絡先	948-6588		
	部等長名	井出　修敏	課等長名	横山　憲	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	奥島　洋平	担当者名			
令和2年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	生涯学習政策課	担当グループ名		調整・評価担当	連絡先	948-6588		
	部等長名	矢野　博朗	課等長名	西村　秀典	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	奥島　洋平	担当者名			

1. 事業概要 【Plan】　※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	41131	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業			事業性質	2:その他	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム		個別プログラム	-		
政策	子どもたちの生きる力を育む				重点プロジェクト	-		
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進				主な取り組み	-		
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約		-			
取り組みの柱	学校施設などの安全確保及び良好な学校環境整備				-			
総合戦略		基本目標 -	取組み	-				
		政策 -						
		施策 -						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等								
事業の目的（どのような状態にするか）	市立小中学校で感染症対策を徹底しながら、コロナ禍に対応するための教職員の資質向上を図りつつ、教育活動を円滑に継続することを目的とする。							
背景（どのような経緯で開始したか）	感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、学校設置者が実施する取組に係る経費を補助することにより、学校における感染症対策、教職員の研修支援、児童及び生徒の学びの保障をする体制の整備を促進することを目的に、国が令和2年度第3次補正予算を計上した。							
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	【対象】松山市立小中学校82校 【事業内容】各小中学校の規模に応じて800～1,600千円を上限に、教育活動の実施に当たり、児童生徒・教職員等の感染症対策を強化するために必要となる保健衛生用品等の購入や、夏季休業期間の短縮等により研修機会を逸した教職員に対し、新型コロナウイルス感染症対策等にも資する研修等に参加するために必要な経費を支援する。							
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期（年度）	令和	2 ～ 令和	3	終期の種別	1:事業の終了時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	教育総務費	目	学校教育総務費	R2予算措置時期	3月補正

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額（A）（単位：千円）		0	106,000	106,000
決算額（B）（単位：千円）		0	0	
内訳 （単位：千円） ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	0	106,000
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0
主な経費（単位：千円） ※R2→決算,R3→予算			—	—
特記事項（単位：千円） ※繰越,補正,流用,事業統合等			3月補正により106,000全額計上	予算額106,000千円全額前年度から繰越
予算執行残額 （単位：千円）	(A)-(B)	0	106,000	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	令和2年度3月補正予算による予算計上のみ					
主な取組み内容の達成度	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	令和3年度に予算全額繰越し実施するため。			
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	3:貢献していない	左記の理由	令和3年度に予算全額繰越し実施するため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、令和3年度以降もこれまで同様、子どもたちの学びを止めることなく、感染症対策を徹底しながら、学校教育活動を継続していく必要がある。					
R3年度の目標	市立小中学校で感染症対策を徹底しながら、コロナ禍に対応するための教職員の資質向上を図りつつ、教育活動を円滑に継続する。	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	・密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要となる物品の購入等 ・教職員の資質向上等を図るため研修等支援 ・児童生徒の学びの保障のため、感染症対策を徹底しながら、感染の状況や児童生徒の状況に応じた学校での教育活動や家庭学習の実施支援	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	各学校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、各学校からの要望に応じて、必要とする物品等を整備していく。	

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートA＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	生涯学習政策課	担当グループ名		調整・評価	連絡先	948-6609				
	部等長名	井出　修敏	課等長名	横山　憲	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	奥島　洋平	担当者名	主任	藤本　享久			
令和2年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	生涯学習政策課	担当グループ名		調整・評価	連絡先	948-6609				
	部等長名	矢野　博郎	課等長名	西村　秀典	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	奥島　洋平	担当者名	主事	門居　千尋			

1. 事業概要 【Plan】　※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	49999	教育委員会議費			事業性質	2:その他	事業区分	1:直営	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム		個別プログラム	-			
政策	その他				重点プロジェクト	-			
施策	その他				主な取り組み	-			
主な取り組み	その他		市長公約		-				
取り組みの柱	その他				-				
総合戦略		基本目標	-	取組み	-				
		政策	-						
		施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律								
事業の目的（どのような状態にするか）	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定されている①所管する学校の設置管理②教育用財産管理③学齢児童生徒の就学等④青少年教育・公民館の事業等の社会教育⑤体育・スポーツ⑥文化財の保護⑦その他区域内における教育　以上に関する事務を行う合議制の教育委員会の管理を行うものである。								
背景（どのような経緯で開始したか）	教育委員会議を適切に管理するため。								
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	・対象:教育委員会及び教育委員 ・事業内容:教育委員会議を開催している								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期（年度）		～　令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	教育総務費	目	教育委員会費	R2予算措置時期	当初

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額（A）（単位:千円）		6,321	6,282	6,281
決算額（B）（単位:千円）		6,051	5,909	
内訳 （単位:千円） ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	122
	一般財源	6,051	5,909	6,159
主な経費（単位:千円） ※R2→決算,R3→予算			・委員報酬　5,472千円 ・普通旅費　0円 ・負担金　323千円	・委員報酬　5,472千円 ・普通旅費　352千円 ・負担金　322千円
特記事項（単位:千円） ※繰越,補正,流用,事業統合等				
予算執行残額 （単位:千円）	(A)-(B)	270	373	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	教育委員会の管理					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適切に教育委員会の管理を行うことができている。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	適切に教育委員会の管理を行うことができているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	教育委員会の適切な管理を行う。	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	教育委員会の定例会及び臨時会の開催、学校訪問、各種会議への出席、教育行政視察及び調査研究。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートA＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	生涯学習政策課	担当グループ名		調整・評価	連絡先	948-6609				
	部等長名	井出 修敏	課等長名	横山 憲	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	奥島 洋平	担当者名	主任	藤本 享久			
令和2年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	生涯学習政策課	担当グループ名		調整・評価	連絡先	948-6609				
	部等長名	矢野 博郎	課等長名	西村 秀典	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	奥島 洋平	担当者名	主事	門居 千尋			

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	49999	一般事務費				事業性質	2:その他	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】			笑顔プログラム		個別プログラム	-		
政策	その他					重点プロジェクト	-		
施策	その他					主な取り組み	-		
主な取り組み	その他			市長公約		-			
取り組みの柱	その他					-			
総合戦略		基本目標	-	取組み	-				
		政策	-						
		施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的（どのような状態にするか）	教育委員会の事務のうち、教育長、局長等が行う事務を円滑に進めることや、教育委員会の説明責任を果たす。								
背景（どのような経緯で開始したか）	教育委員会事務局が組織されたため。								
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	・対象:教育長、教育委員会事務局員等 ・事業内容:教育委員会に関する事務、各種視察及び会議での情報収集								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期（年度）		～ 令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費	R2予算措置時期	当初

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額（A）（単位:千円）		21,134	9,504	6,665
決算額（B）（単位:千円）		20,417	7,382	
内訳 （単位:千円） ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	0	291
	県支出金	925	0	0
	市債	0	0	0
	その他	120	0	4
	一般財源	19,372	7,382	6,370
主な経費（単位:千円） ※R2→決算,R3→予算			・特別職報酬 3,810千円 ・消耗品費 381千円	・特別職報酬 3,390千円 ・消耗品費 488千円
特記事項（単位:千円） ※繰越,補正,流用,事業統合等				
予算執行残額 （単位:千円）	(A)-(B)	717	2,122	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	・教育委員会事務局に関する事務 ・教育委員会事務局内の調整 ・事業に関する進捗管理や評価 ・各種視察、会議での情報収集					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	目標どおりに実施できた。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	適切な教育委員会事務局の運営を行うことができているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R3年度の目標	教育委員会事務局の適切な運営及び教育委員会の各種事業の調整や評価を行う。	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	・教育委員会事務局に関する事務 ・教育委員会事務局内の調整 ・事業に関する進捗管理や評価 ・各種視察、会議での情報収集	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし	